

# やまぐちっ子の学力向上に向けて

令和3年1月  
やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

今年度、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い、各学校では、児童生徒の学習に著しい遅れが生じることのないよう、適切に学習課題を課すなど、家庭学習の充実に努めるとともに、学校再開後は、感染症対策を講じつつ、学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動が進められてきました。

このような状況の中、GIGAスクール構想による1人1台端末など学校のICT環境は、急速に整備・導入が進められており、今後はこの新たなICT環境を最大限活用するための様々な体制や、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底する体制の整備により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実し、子どもたちの資質・能力を育成することが必要です。

今後、学校の新しい生活様式のもとにおいて、児童生徒の学習を保障し、さらなる学びの質の向上を図るためには、引き続き、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とした、「学校の『組織力』の充実」、「教員の『授業力』の向上」、「学校・家庭・地域の『連携力』の強化」の3つの視点による取組を、充実させていくことが重要であると考えます。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、これまでの学校における様々な取組や教育委員会の施策、さらには、本年度県内の学校や市町教委の協力の下で収集した学習に関するデータ等を踏まえ、今後のやまぐちっ子の学力向上に向けた取組の一層の充実のために、次の提言をまとめました。

# — 提 言 —

## 1 学校の「組織力」の一層の充実

- 子どもたちに育成すべき資質・能力を身に付けさせるため、社会に開かれた教育課程に関するこれまでの研究成果を、全県に普及させるとともに、「学校・地域連携カリキュラム」を活用して、全校体制でカリキュラム・マネジメントの充実を促進すること
- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査を活用した年間2回の検証改善サイクルによる全校体制での取組の徹底や、学力分析支援ツールを活用した結果の提供等、各学校における課題の焦点化や課題解決に向けた組織的な授業改善の取組の充実を促進すること
- 基礎的・基本的な学習内容の定着や、環境の整備を含めたICTの活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた取組に加え、多面的な児童生徒理解に基づき、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底する体制づくりを推進すること

## 2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 主体的・対話的で深い学びを実現するために、日々の授業計画の作成と充実をはじめとした授業改善を促進するとともに、効果的な指導方法等の研修会を実施するなどして、教員の指導力の向上を図ること
- 1人1台端末を活かした新たな学びの実現に向け、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、新しい時代に必要となる資質・能力を効果的に育成することをめざした授業改善を推進すること
- 教員のキャリアステージに応じた研修会等を実施・充実させ、個々の教員の授業力や教科の専門性等の一層の向上を図ること

## 3 学校・家庭・地域の「連携力」の一層の強化

- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、学校の教育目標や子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を共有するとともに、地域の教育資源の活用を引き続き推進すること
- 家庭・地域等、子どもの育ちに関わる多くの人々との情報共有による学習習慣や生活習慣の確立を図る取組を促進すること
- 接続する学校や幼児教育施設等との連携により、発達の段階に応じた指導方法の工夫・改善を図るとともに、子どもが自己の将来に夢や目標をもつことができる取組を促進すること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。